



# 子どもの森づくり通信

(発行:NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク)

「子どもの森づくり運動」  
フラグシップ園会報  
(2012年11月号)

〒144-0054 東京都大田区新蒲田1-10-4 tel:03-5711-0362 fax:03-5711-2264  
http://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「子どもの森づくり運動」とご縁をもたせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。



今年も、残り少なくなってまいりました。  
今月号では、エコプロダクツ展をご案内しております。  
よろしければご来場ください。

## (目次)

1. 「JP子どもの森づくり運動」植樹活動レポート
2. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」どんぐり拾い会レポート2
3. 「東北復興グリーンウェイブ」参加園での活動が始まりました。
4. 事務局からのお知らせ

### ■「子どもの森づくり運動」とは

今子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかし、子どもたち(特に幼少期の)は、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「子どもの森づくり運動」は、全国の保育園・幼稚園を拠点に一貫した森づくり活動を通じて、幼児期の子どもたちに「生きる力」と「健全な環境意識」を育むための自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

### ■「JP子どもの森づくり運動」とは

特別ご協賛企業「日本郵政グループ」様との協働で、運動を全国に普及促進するフラグシップ活動を「JP子どもの森づくり運動」、フラグシップ活動実施園を「JP園」として活動を展開、2010年7月、フラグシップ園全国ネットワークが構築されました。

### ■「子どもの森づくり運動」運営体制

- ・運営 : NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク
- ・特別協賛 : 日本郵政グループ
- ・後援/協力 : (社)全国私立保育園連盟 (社)大谷保育協会  
(社)国土緑化推進機構 NPO法人C・C・C 富良野自然塾  
全国森林インストラクター会 NPO法人自然体験活動推進協議会  
NPO法人MORIMORI ネットワーク (社)日本オート・キャンプ協会  
(株)実業之日本社 月刊ガルヴィ編集部



## 1. 「JP子どもの森づくり運動」植樹活動レポート

フラグシップ園の植樹活動風景をご紹介します。活動の詳細はホームページをご覧ください。

### ■山形県「美咲保育園」苗木の見送り会&植樹

日時: 2012年10月17日(水) 主催: 美咲保育園 植樹場所: 遊学の森「木もれび館」敷地内  
森林インストラクター: 砂山隆司氏 日本郵政グループ: 鶴岡淀川町郵便局 局長 齋藤 勝 氏  
\* 植樹場所までの移動距離の事情で、事務局スタッフが苗木を預かり園児に代わって植樹しました。



### ■青森県「ハッ橋保育園」植樹会

日時: 2012年10月29日(月) 主催: ハッ橋保育園 植樹場所: 小牧野遺跡  
協力: 青森市教育委員会事務局 文化財課 児玉大成氏、他、文化財課職員及び遺跡常駐職員の方々  
インストラクター: 青森森林インストラクター会副会長 葛西寛治氏  
日本郵政グループ: 青森中央郵便局 業務企画室長 乗田誠治氏 同業務企画室総務主任 小川充氏



## 2. 子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」どんぐり拾い会レポート2



子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」の活動として、第2回目の「どんぐり拾い会」が開催されました。2012年10月30日(火)に、岩手県「駒形保育園」の園児たちが、岩手県奥州市「見分森公園」でどんぐりを拾ってくれました。駒形保育園では毎年秋に、年長さんが4kmも離れた「見分森公園」まで1時間半かけて、徒歩での遠足を実施しています。今回の引率の先生の中には、園児としてこの遠足に参加した方もいる程の伝統行事です。

その「見分森公園」はコナラを中心とした広葉樹の森で、紅(黄)葉が始まっていました。心配されたどんぐりのなり方も平年並みで、新鮮などんぐりを沢山集めることができました。当日は好天に恵まれ、秋のすんだ空気の中、気持ちの良いどんぐり拾いとなりました。



贈呈式では、子どもたちが、拾ったどんぐりを直接バケツから袋に入れて渡してくれました。「大切に届けてください」とのみんなの気持ちをしっかりと受け取りました。

## 3. 「東北復興グリーンウェイブ」参加園での活動が始まりました。

東北で拾われたどんぐりは、すでに全国で20園を超える幼稚園・保育園に送られました。

東京では、事務局から「新宿せいが保育園」の中山副園長先生に、清水代表理事から直接手渡され、早速、ポットに植えられました。



#### 4. 事務局からのお知らせ

##### ●「エコプロダクツ2012」のご案内

子どもの森づくり運動」では、今年も国内最大の環境展示会「エコプロダクツ2012」に出展します。この機会に、皆様との交流を深めればと願っています。是非ご来場下さい。

【日時】2012年12月13日(木)、14日(金)、15日(土)

【会場】東京ビッグサイト 東1～6ホール

【入場料】入場無料 \* 事前登録をお勧めします。

【アクセス】

・りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩7分

・ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車徒歩3分

【出展ブース】

・NPO・NGDコーナー「子どもの森づくり運動」(N-66)

2012年の「JP子どもの森づくり運動」の活動や東日本大震災支援活動「東北復興グリーンウェイブ」をご紹介します。

・森からはじまるエコライフ展「子どもの森づくり推進ネットワーク」(F-41)

ワークショップ「どんぐりで工作～「どんぐり紙はさみ」づくり～(無料)

①10:30～ ②12:30～ ③14:30～



昨年のブース風景

##### ●どんぐり博士の育苗講座スペシャル～東北復興グリーンウェイブ編～

被災地で拾ったどんぐりの、全国への配布が始まりました。「東北復興グリーンウェイブ」の育苗では、今までの活動と違う点が少しあります。そこで今回の講座では、その違いを抜き出し、留意すべきことを述べてみたいと思います。



##### 違い1 どんぐりが地元の物では無い

地元産のどんぐりや苗と混ざらないようにして下さい。その理由は生物多様性を保つためです。

子どもの森づくり運動と復興グリーンウェイブの活動は、生物多様性の重要性を訴えると共に、その保持とさらなる多様性の発展を目指した取り組みでもあります。事務局からどんぐりと一緒に届いた産地名入りの名札をしっかりと立て、他の苗との取り違えないようにご注意下さい。

##### 違い2 ポット苗に仕上げる

今回の活動ではポット苗に育ててもらいます。ポット苗とは、育苗用のポリポット(ポリ性の黒く柔らかいポット)内にしっかり根を張った苗のことです。植樹後の根付きが良く、運搬しやすいことなどから、業者が扱う小さな苗木はポット苗が基本です。ちなみに園芸店で見かける花の苗も同じポリポットで売られていますね。今までの活動では、プランターで育て、そこから掘り出して植樹する事も多かったので大きな違いです。ポット苗の作り方は、①始めから育苗用ポリポットに一つずつどんぐりを植え付ける方法と②プランターで育てた苗を植え替える方法があります。

どちらの方法でも使用するポリポットの大きさが重要になります。お勧めする大きさは直径が15cm程度(小さくても13.5cm)の物です。一般的に業者が使用しているポットは10cmかそれ以下ですから、遙かに大きいです。各園でポットを準備する際は、しっかり大きさを確認して準備して下さい。この大きさのポットをお勧めする理由も後日の紙面に譲りますが、園での準備の都合があるので、まずその大きさをお知らせしました。この大きさになると入手しにくい場合があります。事務局では、必要な個数を送料込みの有料になりますが、要望のあった園に送付できる体制を取っております。ポットの準備で迷われましたらお問い合わせ下さい。それでは新たに始まった、この復興グリーンウェイブの取り組みを通して育苗を学んでいきましょう。多くの園の参加をお待ちしています。